

会員の ひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

PMF

函館市医師会
函館新都市病院

あさい やすふみ
浅井 康文

国際教育音楽祭である、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）は、間近にある贅沢である。今年のPMF2022 オープニング・コンサートは、7月16日に開幕する。2,008席ある札幌コンサートホールKitaraは、札幌芸術の森・野外ステージと並んで、PMFのメインの舞台となっている。1997年に完成したKitaraは、ギリシャ神話の音楽神であるアポロンの楽器「キターラ」と「北」の意味が込められている。2002年にロシア出身のワレリー・ゲルギエフは、その音響の素晴らしさに感動し、2006年に、Kitaraをモデルにしたマリンスキー劇場コンサートホール（現在は芸術監督）を、サンクトペテルブルグに完成させたのは有名な話である。今年の2022年は札幌とミュンヘンの姉妹都市提携50周年である。1972年に札幌でアジア初の冬季オリンピック大会が開催され、同じ年にミュンヘンで夏季オリンピック大会が開催された。それがきっかけで、札幌とミュンヘン市との姉妹都市関係が結ばれた。ミュンヘンは、現在ロシアと戦争中であるウクライナ的首都キエフ（現在はキーウ）とも姉妹都市でもある。2015年-2019年のPMFで、芸術監督であったワレリー・ゲルギエフは、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を2015年から務めていた。彼はプーチン大統領と親しいとされ、ミュンヘン市がロシアのウクライナ侵攻に対して「明確に、無条件に距離を置くように」と要請したにもかかわらず、反応を示さなかったため、解雇されている。1874年にロシアのムソルグスキーによって作曲されたピアノ組曲『展覧会の絵』は、ラベルの編曲の管弦楽『キエフの大門』で知られる。今後は『キーウの大門』と呼ばれるのであろうか？

札幌中島公園にKitaraがあり、1990年6月26日か

ら7月14日に開催されたPMFの初代芸術監督でもあるバーンスタインの指揮像が立っている。当時、ホテル・ニドムに滞在し、当時の部屋やサインをしたピアノを、現在も見ることができる。バーンスタインは体調を崩しており、その年の10月14日に72歳で肺癌により亡くなった。PMFの指揮はこの時が最初で最後となった。バーンスタインとの思い出となると、1986年の演奏会がある。1986年と言えば、4月26日に当時のソ連の構成国であるウクライナ・ソビエト社会主義共和国でチェルノブイリ原発事故がおきた年である。UCLAに留学していた8月9日に大学のキャンパスにあるロイス（Royce）ホールで、23年ぶりにニューヨーク・フィルハーモニックがバーンスタインの指揮でロスアンジェルスに演奏に来ると言うので、新聞に大々的に報道された。満員の演奏会では、バーンスタインが作曲したミュージカル「キャンディード」序曲と「セレナード（プラトンの『饗宴』による）」が演奏された。このセレナードは、PMFの第1回（1990年）と2018年に、ヴァイオリン独奏者として五嶋みどりが2度演奏している。この時のセレナードに続いて、休息を挟んで、目玉であるチャイコフスキーの交響曲第6番悲愴が演奏された。チャイコフスキーは、ウクライナのコサック出身と言われている。ご承知のようにこの曲の第3楽章はあたかも終楽章のように終わる。バーンスタインは足踏みをしてこの楽章を終わり、何人かの観客は交響曲が終了したと思い、感動しておもわず拍手をしていた。そしてその直後にこともあろうか火災警報が鳴り響いた。観客と団員はすぐさまホールの外へ非難し、20分位の後に警報が間違いであることを確かめて、もとの場所にもどった。バーンスタインは第4楽章を始めるにあたって集中できないのか、指揮棒をふりかざしたまま約2分間静止し、やっと演奏を始めた。第4楽章を終えると、この演奏を乗り切った感動で、観客総立ちの拍手であった。しかし、いくら拍手をしても、アンコールはなく終了した。

この時の予期せぬ出来事があった演奏会を思い出しながら、札幌の地で1990年よりバーンスタインにより始まったPMFが地元で根ざした国際教育音楽祭に発展していることに喜びと平和を感じる。